

投資に役立つ

経済ワード

Vol.10

高金利通貨

日本では長く低金利が続いていますが、海外に目を向けてみると日本円より金利の高い通貨が多くあります。

現在、トルコリラ、メキシコペソ、ブラジルレアルなどが高金利通貨と呼ばれています。



高金利通貨はインフレ率に注意

金利には「名目金利」と、物価変動の影響を考慮した「実質金利」があります。普段目にする金利は名目金利で、名目金利の高い国の通貨が高金利通貨と呼ばれています。金利が高い要因は多岐にわたりますが、その一つに、総じてその国のインフレ率が高いという特徴があります。インフレ率が高いということは、その国の通貨が中長期的に下落することを意味しています（詳しくは「Vol. 3 為替レート」をご参照ください）。

例えば、インフレ率0%の国の通貨との競争力が維持されるためには、インフレ率10%の国では通貨が1年で10%下落する必要があります。日本は世界的に見ても低インフレ国であるため、日本よりインフレ率の高い国の通貨は、日本円に対して中長期的に下落圧力がかかっているということになります。

為替変動と高い金利収入のバランスを見る

右記期間、①ブラジルレアルは下落基調となりました。その理由の一つに、ブラジルのインフレ率が日本より高い状態が続いたことで、ブラジルレアルの対円レートに中長期的に下落圧力がかかったことがあります。一方、②ブラジルは日本より名目金利が高いため、その金利差分が金利収入として積み上がりました。

②高い金利収入が①ブラジルレアルの下落（レアル安）を上回ったことで、③トータルリターンはプラスで推移しました。

このようにトータルリターンがプラスになるためには、名目金利の高さだけでなく、物価変動の影響を考慮した実質金利が高いかが重要になります。

■ 為替レートと累積金利収入（課税前）



■ 名目金利と実質金利のイメージ

	名目金利	インフレ率	実質金利
ブラジル	6.5%	4%程度	2.5%程度
日本	-0.1%	1%程度	-1.1%程度

2018年12月現在
名目金利は政策金利を使用（ブラジル：Selicレート、日本：日本銀行当座預金・政策金利残高適用金利）
上記は「名目金利」と「実質金利」を簡易的に計算したもので、全てを説明するものではありません。

（出所）ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。